

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	観光行事事業費（西木の冬祭り）				
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 係	作成者	戸澤浩
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画のページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし			
	主要施策	テンミリオン計画の推進			29
予 算 費 目	一般 会計	7 款 商工費	1 項 商工費	3 目	観光費
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	観光客や地域住民のために仙北市の冬を楽しむお祭りとして開催している。
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	冬季観光の推進による観光客の増加と地域の活性化を図る。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	地域の人たちによるイベント、また、観光客が体験できるお祭りとして紙風船上げ、伝統芸能の披露等を行っている。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	観光客数	人	8,000	15,000	
	成果指標	観光客数対前年比	%		88	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			3,473	3,389	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				
		県 支 出 金				
		地 方 債				
		そ の 他				
		一 般 財 源		3,473	3,389	
	人 件 費 (B)		—	785	807	
		職 員 数	—	0.1	0.1	
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	4,258	4,196	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	532	280	
			—			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	134	134	

【事務事業の今までの成果】

他の地域では見られない特長のあるお祭りとして、首都圏はもとより海外からも観光客が訪れるようになってきた。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	地域と観光客が共に楽しめるお祭りとして定着していることからこのまま支援をいただき存続したい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	観光客には冬のお祭りとして好評を得ている。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	「上桧木内の紙風船上げ」として、観光客も増加し冬季の観光業行事として定着した。引き続き地域活性化のため事業の推進に努めていただきたい。

一次評価診断図

